

殿下地区の誇り

歴史と自然が湧き出すみんなの殿下地区



小高い山々に囲まれ、美しい水が流れる殿下地区。農林業に頼ってきた昔とは一変した暮らしの中で、今の自然を守り、伝統を繋ぎながら新たなことに挑戦していこうとする多くの団体がある。その団体が協力して様々な祭りや行事に取り組んでいることで、多くの方々が訪れている。



明治42年に創設。現在は秋祭りの際、神社に奉納した後、町内を「村舞」で練り歩く。以前は青年会がその勤めを担っていたが、地区外への流出が多く、存続の危機になったが、保存会を立上げ現在に至っている。



かじかの里山殿下は地区の里づくり組合の一部として始動し、平成25年4月に本格オープン。バイキングスタイルの農家レストランは地区内外のお客様に好評。殿下のそばも好評で、今後は殿下産のそば粉で勝負したい。



殿下公民館 館長
長井 眞見さん

平成15年より現職。真向法の祖として有名な勝鬨寺の現住職。元教員で地区民の信頼も厚く、各種団体の取り纏め役として日々奔走されている。そして何より殿下地区の発展を心から願っている。

殿下公民館

住 所／福井市風尾町1-13
電 話／0776-97-2377
交通機関／京福バス「風尾」バス停から徒歩2分